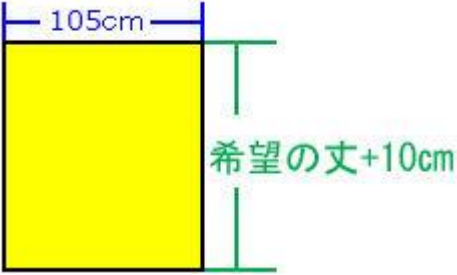
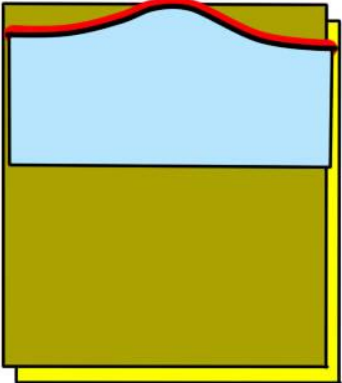
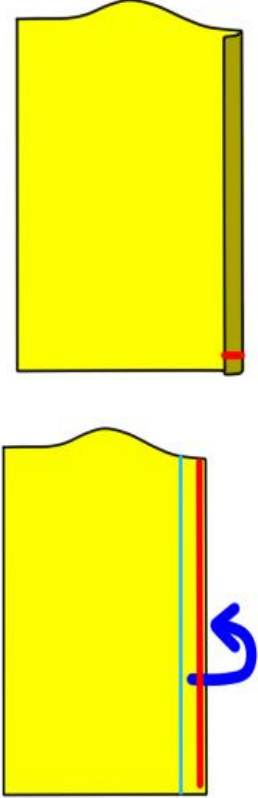
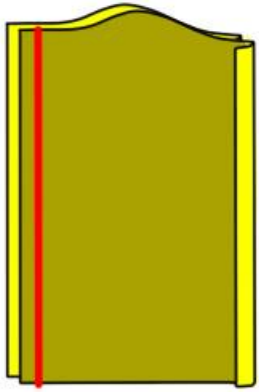
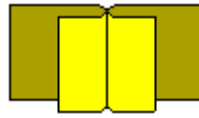
 <p>表 裏 接着 芯</p>	<p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。 指定された場所の裏に接着芯を付けてください。 くわしくは<a href="#">縫う前の下準備</a>を参照してください。</p>
	<p>作業がしやすいように先に 横 105cm 縦は作りたい希望の丈+10 cmの長方形に布を切っ てください。 二枚切ってください。</p>
	<p>2枚の布を表同士が内側になるように重ねてください。 型紙を上と両端をあわせるように重ねて線を写してください。 型紙の待ち針の絵の所は重要な位置のしるしなので線と、待 ち針が交わったところに必ず印をつけて下さい。 くわしくは<a href="#">縫う前の下準備</a>を参照してください。</p>
	<p>前中心の<a href="#">見返し</a>を表からみえるように折り、すその縫い代を縫 ってください。</p> <p>見返しを裏へ折ってください。</p> <p>前中心を端から 5mmの所を縫ってください。</p>

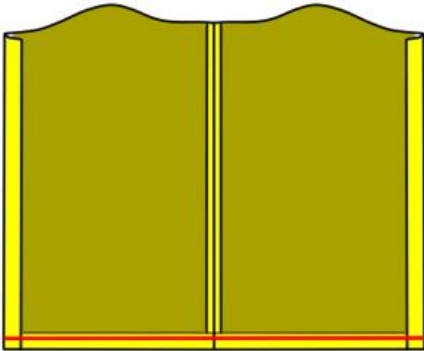


2枚の**身頃**を図のように表同士が表になるように重ねてください。

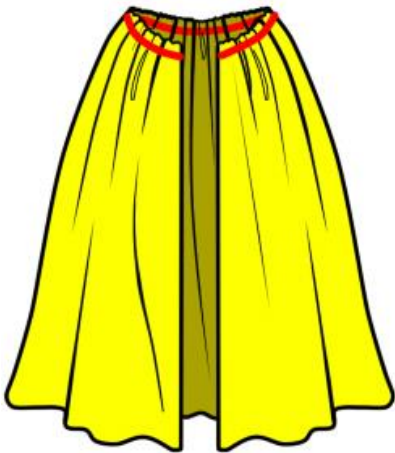
後中心を縫ってください。（赤い線のところ）



縫い終わったら縫い代をアイロンで折ってください。



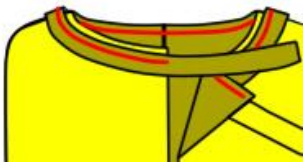
すそをアイロンで折り縫ってください。



えりにギャザーを寄せてください。



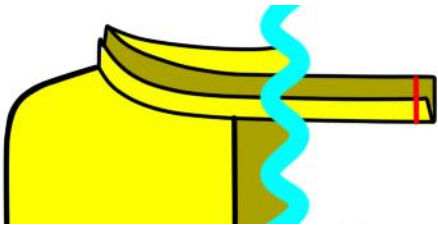
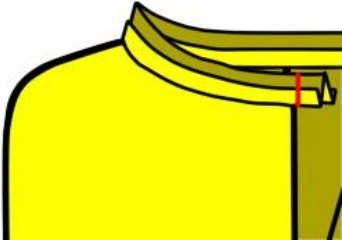
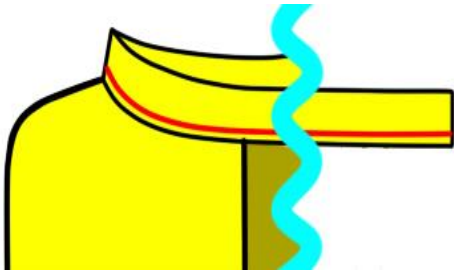
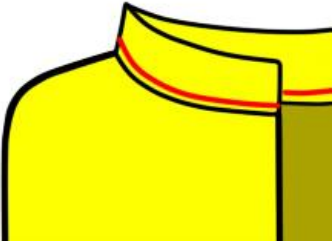
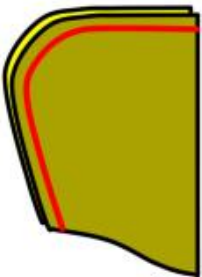

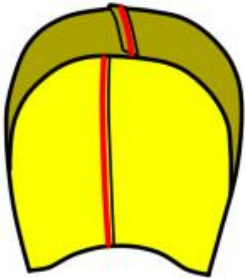
ギャザーの寄せ方は縫う前の下準備参照

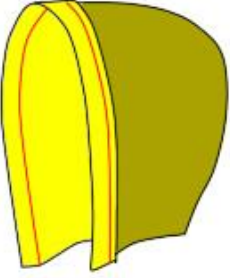
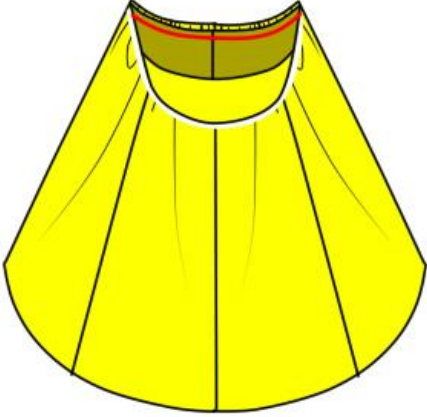
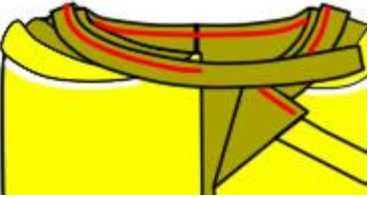


首にバイアステープを縫ってください。

前を紐で結ぶタイプにしたい場合はバイアスを長めにする  
と、長い部分が紐になります。

ボタンなどにしたい場合は1.5cm程長めにして切ってください。

 	<p>バイアスの端は裏が見えるように半分に折って端を縫ってください。</p> <p>長く伸ばす場合は、端から 1cm の所。</p> <p>短くする場合は、前中心の延長線上を縫ってください。</p>
 	<p>バイアスを表に返して、縫い目から 2~5mm のところを縫ってください。</p>
	<p><b>フードを付ける場合</b>          バイアスを縫いつける前にフードを付けてください          フードを表同士が表になるように重ねてください。          カーブの方を縫ってください。</p>  <p>縫い代はどちらか片方に折ってください</p>
	<p>フードを左右に開いて、表から、縫い代が動かないように固定してください。</p>

	<p>前側の縫い代を折って縫ってください。</p>
	<p>表を上にした身頃の上にフードを裏が見えるように重ねて縫ってください。</p>
	<p>バイアステープで、えりとフードの縫い代を一緒に包んでください。</p>

## このデザインに使いやすい生地

### ●光沢が欲しい場合

ポリエステルサテン 幅が広く軽いのでおすすめです。薄手のものがオススメ。

### ●光沢が無い方がいい場合

ポリエステルアムゼン すそをひるがえさせたり、軽さ、薄さを重視するのなら上記化繊が軽くてしわになりやすくオススメです。

リアルを重視するなら、位が高い人ならウール、ジャガードなど、厚みがあり豪華な生地を。

一般人の旅人風だとウールや綿が使われていたと思いますが、天然素材はしわになりやすいので、コスプレには向かないと思います。

このデザインは布を多く使うのと、歩いたり何か動作した時にいかにさらりとなびくかがポイントなので、摩擦力の高い綿生地よりポリエステル等のサラサラした薄手を選ぶのがポイントです。